

# 公益社団法人 日本水難救済会について

～海で遭難した人々の救助等を行う民間のボランティア団体です～

## 組織

公益社団法人日本水難救済会（東京都千代田区麹町）  
 地方水難救済会 臨海道府県 40組織  
 救難所・支所 約1,300所  
 救助員 約5万人（令和8年3月31日現在）  
 名誉総裁 高円宮妃殿下（平成15年2月に御推戴）

＜水難救済会の記章・ロゴマーク＞



## ＜発祥の地（讃岐・金刀比羅宮）＞



本会発祥の地 讃岐の金刀比羅宮

明治22年11月、金刀比羅宮(ことひらぐう)宮司(ぐうじ)琴陵宥常(ことおかひろつね)氏の発意により、讃岐(さぬき)琴平(ことひら)の地で大日本帝国水難救済会発会。

平成23年4月、現在の『公益社団法人日本水難救済会』に移行。

## 活動

### ○ 海難救助

漁業関係者や海洋レジャー関係者から構成される、ボランティア救助員により海難救助を行っています。明治22年の設立以来、救助人員は199,682人、救助船舶数は41,181隻を数えます。（令和7年12月31日現在）

### ○ 洋上救急

遥か洋上の船舶内で傷病者が発生した場合に、海上保安機関等と協力して医師・看護師等を現場に派遣し、傷病者の応急治療を行いつつ最寄りの病院に搬送する世界唯一の制度である「洋上救急」を運営しています。昭和60年10月に洋上救急が開始されて以来、出動件数は1,022件、救助人員1,055人を数えます。（令和8年3月31日現在）

### ○ 水難救済思想の普及

全国で青少年を対象に、『海の安全教室』を開催し、海での安全意識の向上を図るとともに、水難救済ボランティア思想の普及啓蒙を行っています。



えい航（牽引）救助



医師同乗ヘリによる洋上救急



海の安全教室

## 青い羽根募金

### ＜青い羽根募金活動＞

海のボランティア活動を支援するため、昭和25年7月から実施しています。

年度	募金額（千円）	募金箱	募金支援自動販売機
令和5年度	88,543		
令和6年度	78,935		
令和7年度	82,681		

※ 募金支援自動販売機の売上金の一部は、青い羽根募金に還元

### ＜募金の活用について＞

- ・ 出動報奨金、燃料代、訓練費用
- ・ ライフジャケット、AED等の資機材購入 など



救助資機材（イメージ）



救助訓練の様子



きゅうすけくん

青い羽根募金強調運動期間：7月1日～8月31日  
 青い羽根一斉着用キャンペーン期間：7月1日～7月20日  
 （募金活動は周年展開）



水難救済会HP

※ 本資料は日本水難救済会の公表資料を基に海上保安庁が作成したものです。詳細は日本水難救済会のHP等をご確認ください。